

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 本郷工場

(2) 事業所の所在地

広島県三原市下北方1-3-1

(3) 業種

清涼飲料水の製造

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22年度を基準年度とし、平成29年度から平成32年度までの4年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a) 平成22年度	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c) 平成32年度	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))					
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
エネルギー起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
非エネルギー起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガスみなし排出量								
実績に対する自己評価								

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： (t-CO₂)/千ケース

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a) 平成22年度	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c) 平成32年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))					
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
エネルギー起源CO ₂	1.13	1.26	1.26	1.06				
非エネルギー起源CO ₂		11.5	-11.5	6.2	100.0	100.0	100.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス排出量総計	1.13	1.26	1.26	1.06				
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	0.51	0.53	0.53	0.44	100.0	100.0	100.0	
実績に対する自己評価	エネルギー使用の無駄をなくす活動を徹底して実施した結果、スコアは良化していたが、7月豪雨災害被災により製造活動を断念した。							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	都市ガス使用量の削減	都市ガス使用量：1.0%削減	貫流ボイラー高効率タイプに更新 (削減量：約30,000m ³ /年)
2	電気使用量の削減	電気使用量：1.9%削減	生産使用機器のブロー化 (削減量：155,180kwh/年)
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	配管の保温	検証中	配管を保温することで熱ロスを削減し、エネルギー使用量を抑制する。
2	無駄な電気の使用削減	検証中	不必要な電球の取り外しや間引きを実施し電気使用量を抑制する。
3	漏れ箇所の早期対応	検証中	配管の漏れによるエネルギーロスを無くし、使用量の抑制に繋げる。

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。